

[インデックスに戻る](#)

## 15. 数列

### 15-1. 等差数列と等比数列

#### 15-1-2. 等差数列

##### 15-1-2-1. 等差数列の定義

奇数を小さいほうから順に並べて得られる数列

1, 3, 5, 7, …

は、初項に2をたすと第2項、第2項に2をたすと第3項、第3項に2をたすと第4項、…のように、繰り返し2をたしていくと、数列の各項が得られる。

一般に、初項に定数 $d$ を繰り返したすことで得られる数列を、等差数列という。 $d$ をその等差数列の公差という。等差数列では、隣り合う2項間の差は一定であり、その差は公差 $d$ である。

(例)

初項が2、公差が3の等差数列は、次のようになる。

2, 5, 8, 11, …

(例)

等差数列

7, 11, 15, 19, …

の初項は7である。公差を $d$ とすれば

$$7 + d = 11$$

$$d = 11 - 7$$

$$d = 4$$

であるから、公差は4である。

[インデックスに戻る](#)